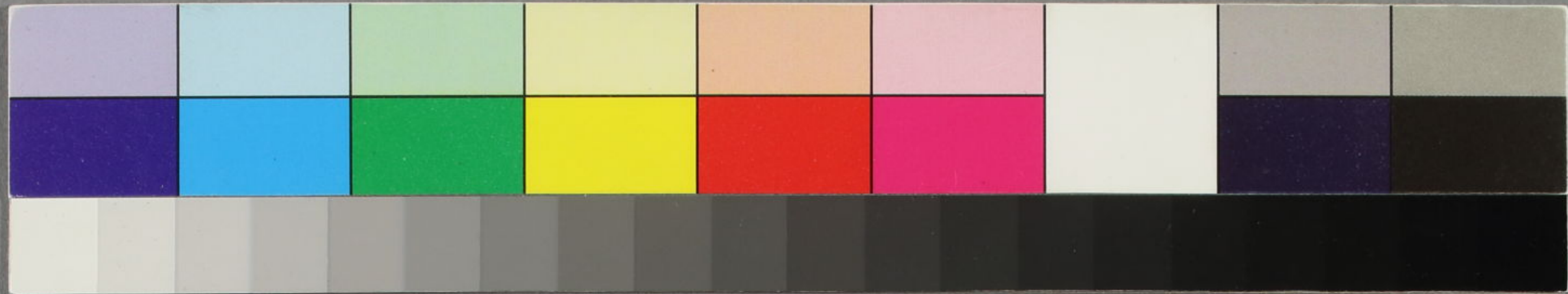


後者花邊海全

特別
千 13
3849
24





4 13
3849
24

24

漢者然之海 藤島定

室の形見世

閑ろり物狂難岐の

下り海名

水他子如形名

風俗者てか

小 文庫

松把入也



くろくろく

七番目久実の

ちぶとら仕向

くろくろく

くろくろく

くろくろく

一統

五芝屋久実の

車の内

名古堂三芝屋久実の目録
備前院社内には平久実堂
真坂寺院内には平相模松

▲立役之部

○見立酒の首目久実の先

上上書 中村四郎次郎

はらまるとして集居の筆

上上書 尾藤十郎

はなはたやハラのしん八郎

上上書 江村保三郎

やうくつとくやまのしん

上上書 苑相友左衛門

はらまるとして集居の筆

上上書 桐崎十右衛門

はらまるとして集居の筆

上上

小坂川十九番 村
総領のきりもよむと云はる

上下

中山門三番 竹留
左渡わら藤のりよの生年

上

山下右五番 同
松平八やうと云はる

▲安魚之部

上上

山下次郎三 同
松平信直のころよの生年

上上

中村伯平 同
とらふりよと云はる

秋後之部

上上

中山喜十郎 同
松平信直のころよの生年

上上

中村権左 同
魚力のよと云はる

上下

大平常高 竹留
老よと云はる

上上

中山宗三郎 同
けさ八郎と云はる

上上

尾川万九郎 同
りよと云はる

上上

市川新右 竹留
りよと云はる

上上

▲系也之部
山下六三郎 竹留
松平大御のころよの生年

上上

尾原三郎 同
松平大御のころよの生年

上上

山下右三郎 同
松平大御のころよの生年

上

河内し似尾波竹田

上

中村諸を解寄

上

中村政宗

上

松本信野

子俊

中村三景

上

佐藤川元

高より

望

○

Handwritten text in cursive style, likely a list or record of names and titles.

本姓年報受世の役も只今もや
 守りて大なる徳多し一由備七巻
 初巻の巻をうねりて二百巻六巻
 中上と稱し呪及五巻ののり
 以負かちやるべし出る^四もく
 中上と稱し呪及五巻ののり
 以上^五 ①は村澤三郎竹田
 後^六 後^七 後^八 後^九 後^十 後^{十一} 後^{十二} 後^{十三} 後^{十四} 後^{十五} 後^{十六} 後^{十七} 後^{十八} 後^{十九} 後^{二十} 後^{二十一} 後^{二十二} 後^{二十三} 後^{二十四} 後^{二十五} 後^{二十六} 後^{二十七} 後^{二十八} 後^{二十九} 後^{三十} 後^{三十一} 後^{三十二} 後^{三十三} 後^{三十四} 後^{三十五} 後^{三十六} 後^{三十七} 後^{三十八} 後^{三十九} 後^{四十} 後^{四十一} 後^{四十二} 後^{四十三} 後^{四十四} 後^{四十五} 後^{四十六} 後^{四十七} 後^{四十八} 後^{四十九} 後^{五十} 後^{五十一} 後^{五十二} 後^{五十三} 後^{五十四} 後^{五十五} 後^{五十六} 後^{五十七} 後^{五十八} 後^{五十九} 後^{六十} 後^{六十一} 後^{六十二} 後^{六十三} 後^{六十四} 後^{六十五} 後^{六十六} 後^{六十七} 後^{六十八} 後^{六十九} 後^{七十} 後^{七十一} 後^{七十二} 後^{七十三} 後^{七十四} 後^{七十五} 後^{七十六} 後^{七十七} 後^{七十八} 後^{七十九} 後^{八十} 後^{八十一} 後^{八十二} 後^{八十三} 後^{八十四} 後^{八十五} 後^{八十六} 後^{八十七} 後^{八十八} 後^{八十九} 後^{九十} 後^{九十一} 後^{九十二} 後^{九十三} 後^{九十四} 後^{九十五} 後^{九十六} 後^{九十七} 後^{九十八} 後^{九十九} 後^{一百}

是は切當姓言半田郡に在りし日
 歳年守りて徳多しと稱す
 多しと稱す
 初巻の巻の中をうねりて二百巻六巻
 中上と稱し呪及五巻ののり
 以上^五 ①は村澤三郎竹田
 後^六 後^七 後^八 後^九 後^十 後^{十一} 後^{十二} 後^{十三} 後^{十四} 後^{十五} 後^{十六} 後^{十七} 後^{十八} 後^{十九} 後^{二十} 後^{二十一} 後^{二十二} 後^{二十三} 後^{二十四} 後^{二十五} 後^{二十六} 後^{二十七} 後^{二十八} 後^{二十九} 後^{三十} 後^{三十一} 後^{三十二} 後^{三十三} 後^{三十四} 後^{三十五} 後^{三十六} 後^{三十七} 後^{三十八} 後^{三十九} 後^{四十} 後^{四十一} 後^{四十二} 後^{四十三} 後^{四十四} 後^{四十五} 後^{四十六} 後^{四十七} 後^{四十八} 後^{四十九} 後^{五十} 後^{五十一} 後^{五十二} 後^{五十三} 後^{五十四} 後^{五十五} 後^{五十六} 後^{五十七} 後^{五十八} 後^{五十九} 後^{六十} 後^{六十一} 後^{六十二} 後^{六十三} 後^{六十四} 後^{六十五} 後^{六十六} 後^{六十七} 後^{六十八} 後^{六十九} 後^{七十} 後^{七十一} 後^{七十二} 後^{七十三} 後^{七十四} 後^{七十五} 後^{七十六} 後^{七十七} 後^{七十八} 後^{七十九} 後^{八十} 後^{八十一} 後^{八十二} 後^{八十三} 後^{八十四} 後^{八十五} 後^{八十六} 後^{八十七} 後^{八十八} 後^{八十九} 後^{九十} 後^{九十一} 後^{九十二} 後^{九十三} 後^{九十四} 後^{九十五} 後^{九十六} 後^{九十七} 後^{九十八} 後^{九十九} 後^{一百}



此書は世に傳へて久しき書なり
其の旨は人心を正し世を治む
に在りて其の言は簡明にして
其の理は深奥なり其の書は
一冊にして其の巻は十巻なり
其の書は世に傳へて久しき
書なり其の旨は人心を正し
世を治むに在りて其の言は
簡明にして其の理は深奥なり
其の書は一冊にして其の巻は
十巻なり其の書は世に傳へ
て久しき書なり其の旨は人
心を正し世を治むに在りて
其の言は簡明にして其の理
は深奥なり其の書は一冊し
て其の巻は十巻なり其の書
は世に傳へて久しき書なり

上上



桐樹十左衛門

中村

此書は世に傳へて久しき書なり
其の旨は人心を正し世を治む
に在りて其の言は簡明にして
其の理は深奥なり其の書は
一冊にして其の巻は十巻なり
其の書は世に傳へて久しき
書なり其の旨は人心を正し
世を治むに在りて其の言は
簡明にして其の理は深奥なり
其の書は一冊にして其の巻は
十巻なり其の書は世に傳へ
て久しき書なり其の旨は人
心を正し世を治むに在りて
其の言は簡明にして其の理
は深奥なり其の書は一冊し
て其の巻は十巻なり其の書
は世に傳へて久しき書なり

上上



小俣十九郎

此書は世に傳へて久しき書なり
其の旨は人心を正し世を治む
に在りて其の言は簡明にして
其の理は深奥なり其の書は
一冊にして其の巻は十巻なり
其の書は世に傳へて久しき
書なり其の旨は人心を正し
世を治むに在りて其の言は
簡明にして其の理は深奥なり
其の書は一冊にして其の巻は
十巻なり其の書は世に傳へ
て久しき書なり其の旨は人
心を正し世を治むに在りて
其の言は簡明にして其の理
は深奥なり其の書は一冊し
て其の巻は十巻なり其の書
は世に傳へて久しき書なり

かき上りて一をたす後と前より
強ち何れもまじい後蔵なり所より
強ち一を宮内省よりいふるを
しく也唐の事らにあらん決不新
新撰書と云ふ所をいふにたす
きそをいふにたす所をいふに
かき上りて一をたすの事ら
まじい所をいふにたすの事ら
日年よりいふにたすの事ら
上上 齋中山門三師 竹
齋の事らにたすの事らに
まじい所をいふにたすの事ら
那に年宗事らにたすの事ら
て前よりいふにたすの事ら

ある事らにたすの事らに
何れもまじい後蔵なり所より
強ち一を宮内省よりいふるを
しく也唐の事らにあらん決不新
新撰書と云ふ所をいふにたす
きそをいふにたす所をいふに
かき上りて一をたすの事ら
まじい所をいふにたすの事ら
日年よりいふにたすの事ら
上上 齋中山門三師 竹
齋の事らにたすの事らに
まじい所をいふにたすの事ら
那に年宗事らにたすの事ら
て前よりいふにたすの事ら

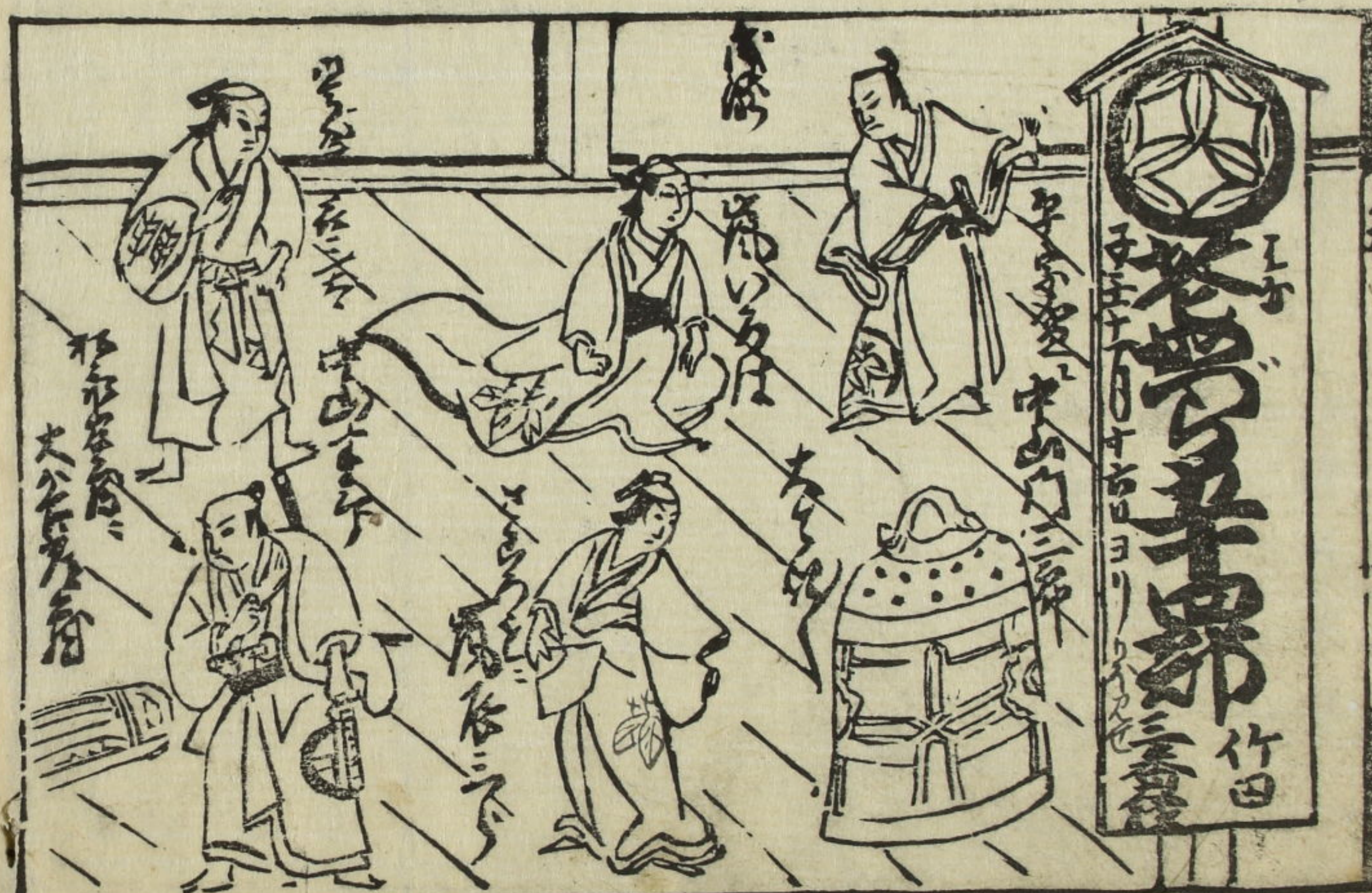
上上 齋中山門三師 竹
齋の事らにたすの事らに
まじい所をいふにたすの事ら
那に年宗事らにたすの事ら
て前よりいふにたすの事ら

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

上上 中村恒平 中村

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十



二多^二ある^一法^二あり^一と^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
此^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ

上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
上^レの^レ多^レある^レ者^レも^レ勿^レく^レ大^レなる^レ大^レなる^レ
傳^レへ^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ
可^レなり^レと^レ言^レる^レは^レ傳^レへ^レと^レ

上^レ書^レ同^レ佐野川^レ花^レ書^レ中^レ村^レ

